

## ちはやあかさかプラスチックごみゼロ宣言

プラスチックは、経済の成長や便利なライフスタイルへの移行と共に増加の一途をたどっています。その一方、不用意にごみとして捨てられたレジ袋やペットボトルなどのプラスチックごみが、河川を通じて海へ流れ込む海洋汚染が地球規模での問題となっており、プラスチックごみが小さく砕けたマイクロプラスチックによる、生態系への影響も懸念されています。

千早赤阪村は、澄んだ空気、清らかな水、金剛山の緑、そこに息づく様々な動植物など豊かな自然に恵まれた地であり、この恵み豊かな環境を将来の世代に引き継ぐため、様々な環境問題に取り組んできました。

千早赤阪村は海から遠く離れているものの、水越川や千早川を有する事から、海洋プラスチック問題を身近な問題と捉え、村民や事業者への啓発活動を行なうとともに、3R（リデュース・リユース・リサイクル）のさらなる推進やマイバックの普及促進を行なうなど、不断の取り組みを行なう事をここに宣言します。

令和元年6月7日

千早赤阪村長 松本昌親